

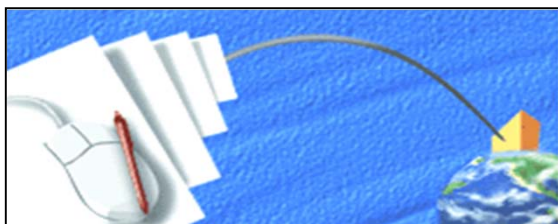
第35期・特許翻訳上級コース

入 校 案 内

平成29年 4月開講 第35期生 募集

開講初日	東京(本科)	4月12日(水)
	東京(医薬・バイオ)	4月18日(火)
	大阪(本科)	4月13日(木)

(説明会資料)



東 京・大 阪

説明会・デモ授業

東京(本科、医薬・バイオ 合同)

3月 1日(水) 18:30～

千代田区永田町2-13-5 赤坂エイトワンビル7F

大阪(本科)

3月 2日(木) 18:30～

大阪市西区鞠本町1-8-4 大阪科学技術センター 603号室

平成29年版

株式会社 エイバックズーム

URL <http://www.zoomin.co.jp/>
staff@zoomin.co.jp

特許翻訳上級コース募集

1. 説明会・デモ授業と募集のスケジュール

募集開始:H28年2月

説明会・デモ授業/東京会場(本科、医薬・バイオ合同)

平成29年 3月 1日(水) 18:30～

場所:千代田区永田町2-13-5 赤坂エイトワンビル7F

説明会・デモ授業/大阪会場(本科)

平成29年 3月 2日(木) 18:30～

場所:大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター 603号室

(ご出席希望の方はメール、電話、又は別紙のファックスにてお申込下さい。)

★説明会に出席できない方は、電話又は面談にて説明及びご相談されることをお勧めします。

募集:定員&先着順(定員:各クラス14名)

【Skype受講】通学ができない地域の方に枠を2人設けます(東京本科のみ)。

★事前相談と接続実験をします。お受けできない場合あり。受講者のInternet接続は固定回線の方優先。

受講料納付期限:H29年3月30日(木)

2. 授業の開始と終了のスケジュール

東京(本科):全15回 毎週水曜日 18:30～21:00(1回2時間30分)

授業開始:H29年4月12日(水) 授業終了:H29年8月2日(水)

東京(医薬・バイオ):全4回 毎週火曜日 18:30～21:00(1回2時間30分)

授業開始:H29年4月18日(火) 授業終了:H29年5月16日(火)

大阪(本科):全15回 毎週木曜日 18:30～21:00(1回2時間30分)

授業開始:H29年4月13日(木) 授業終了:H29年8月3日(木)

カリキュラム
参照

3. 修了書の発行

当スクール学則の規定に基づき、上級コースを修了したと認定した人には修了書を発行いたします。

お問合せ・ご相談は
(株)エイバックズーム
TEL 03-6205-3489 FAX03-6205-3100
staff@zoomin.co.jp 担当:坂元
http://www.zoomin.co.jp/

4. 当スクールを受講される方へ

★説明会「入門の入門」・・・受講前の大事なこと、自分を知る事による具体的な目標を！

知財関連の周辺業務のなかでも特許翻訳は難しいものとされ、仕事量に比し人材が不足している分野です。当社の「特許翻訳上級コース」は17年目となり、35期生の募集となりました。

特許翻訳の仕事は翻訳力とともに各技術分野の知識が必要とされる、とされています。受講生におかれましては、修了後もスクールをどのように利用すべきかを含め、その後の自己研鑽の作戦をお持ちください。受講の半年間はもちろん重要ですが、スクールの利用は修了後も同時に重要でしょう。修了生が翻訳者として成功するまでお手伝いをしたいと考えています。人脈の形成、就職・転職、仕事の紹介などできるだけのお世話をしたいと思っています。

また、修了生の翻訳経験が進むにつれ、さらにレベルを上げるため3つの講座を用意。

・特許翻訳上級アドバンスコース ・日米出願の中間処理翻訳コース ・翻訳に影響を与えるMPEPなど、修了生割引で受講いただけます。

★入校前の事前相談・・・時間のある方はできるだけご相談ください。

聞いてみないとわからないことは多いです。

電話にて面談日時の予約をしてください。TEL03-6205-3489(担当 坂元)

当コースは特許翻訳者の訓練コースですので、受講中も大事ですが、受講修了後のことが一層重要なことと考えております。そのために受講希望者には事前に個別相談をお受けしています。

＜目標設定＞・・・受講の前に、いつまでにどの様になりたいのか、の目標を定め、はっきりとした意識付けを行ってまいります。

目標は人により事情がありますので、目標達成の時期や独立なのか転職なのか、は違ってきます。個別の事前相談により目標をはっきりさせ、受講中、受講後の目標達成のアドバイスをを行います。

★事前相談 聞いてみないとわからない話やアドバイスがあります。きっと役立ちます。

＜受講後の支援＞・・・事務局としては、受講開始時から受講生の目標実現のための支援方法を個別事情に応じて検討しております。

＜スクール機能・情報の利用＞・・・終了後のスクールの積極的な利用も受講生に求めています。

★必死に勉強した同じクラスの人とは長いおつきあいになる事が多く、スクール終了後の勉強会や情報交換を続けるケースが多いです。一緒に勉強した人達が助け合うことはうれしいことです。

5. 受講生の状況

最近の受講生の傾向として、

①企業出身者、特許事務所勤務者の増加、②英語力が高くなってきている

③将来の独立志向、④実務英語力習得のための弁理士の方の増加、等の特徴がみられます。

勤務先等 特許事務所:50%、企業:35%、他分野の翻訳者:15%

英語のレベル TOEIC 700-800:10%、800-900:50%、900以上:40%

英検 準1級:60%、1級:40%

☆弁理士の資格を持つ方の受講増が最近目立ちます。受講中約30%

6. 修了生の活躍

多くの修了生はまだ職場に勤務の方ですが、既に200名を超える人が在宅の特許翻訳者として、活躍しています。

WEBサイト **受講生・修了生
の声** をご覧ください

ある翻訳会社の特許翻訳者トライアル実績では、実に80%の合格率になっています。また、特許事務所への転職希望者で、受講中に転職を実現する人も多くいます。

7.特許翻訳上級の授業の進め方

当スクールの基本的な考え方

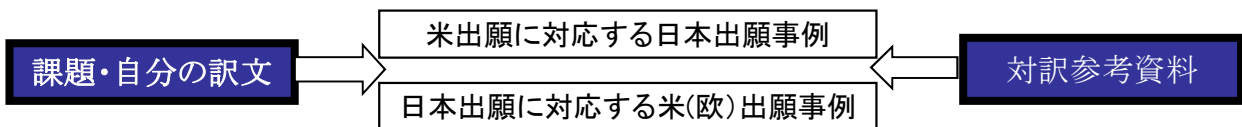
1. スクールでは全ては学べない。自分が重点をおくべき勉強方法を理解する。
2. 翻訳者としてのスキルの磨き方、翻訳とは、判断(翻訳の判断に迷うことが多い)を学ぶ。
⇒質問とディスカッションに重点をおきます
3. 翻訳文と納品はどのようにあるべきか、のぞまれる特許翻訳者のありかたを学ぶ。
宿題は、<擬似発注>と<擬似納品>と位置づけ、継続的に仕事を得るノウハウを得る。
4. 最終翻訳文はどのようにあるべきか、のぞまれる特許の「翻訳姿勢」のありかたを十分理解する。
5. なお、特許翻訳を学ぶ対象としていることから、**弁理士の方々**がその資質向上を意図して受講される場合も想定した内容

◎上記の考え方から教材は、講師陣の執筆による「特許翻訳基本教材」のなかに、**翻訳者が絶対にはずせない基本事項を掲載。例題は一流企業の最新出願を出来るだけ多く掲載し、週に1特許公報を課題とし、半年で多くの公報を読込みます。例題集および演習後の参考資料として日米(欧)の対応公報集をPDFでお送りします。**

★教材は、基本教材、和訳例題集、英訳例題集、対応公報集の4種類です。

◎東京・大阪校本科は、ITの技術分野を中心に、燃料電池など電気の技術分野です。

◎未使用の例題はスクール終了後の自習教材としても利用できます。



◎授業の進め方

プロの特許翻訳者になるための訓練をします。そのために原則毎週1特許公報を扱い、そこから課題を提出していただきます。一種の【擬似発注、擬似納品】の訓練をおこないます。

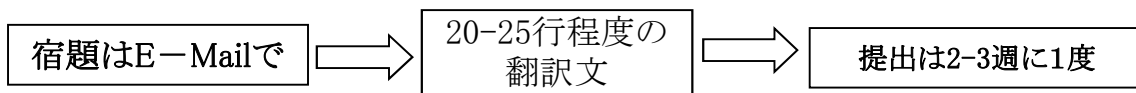
翻訳の品質は当然ですが、形式や納品のあり方なども重要です。**宿題の提出は納品**としてとらえ、評価されます。

★プロの世界に入れば、すべてを自分で処理しなければなりません。その処理能力の訓練を始めます。

★原文の読み方と翻訳姿勢が問われます

原文である特許明細書は起草者が特許権を主張するために自身の文章表現と論理により言葉でそれを説得しようとしています。その明細書に書き込まれたストーリーを理解し、起草者の考え・ポイントが読み解ければ翻訳はほぼ出来る状態になります。

そこには起草者の立場で原文を読み解く姿勢が強く求められます。また自分の訳文を読むのは誰なのかを理解する必要があります。その結果として訳出された全員の訳文が添削され、その添削資料を全員に配布し、演習の材料として授業の中で使用されます。



提出された宿題にはそれぞれ講師による添削/評価と講評を行います。一定のレベル以上の評価を3回以上得る事も修了の条件になっております。

提出する宿題には質問・訳者コメントをつけていただき、添削資料は受講生全員に配布され演習の材料とします。自分以外の受講生の翻訳例と添削・講評も大変役立ちます。

◎クラスの人数を2つのチームに分け、宿題は各チームごとに隔週で提出して頂きます。

◎テストの実施とベスト翻訳の表彰

授業では、中間と最終の2回、試験をおこないます。出席状況と評価の結果で修了証が発行されます。また、提出課題および試験の評価を総合的に判断し、前期・後期それぞれ最優秀成績者を選出し、商品(図書券もしくは商品券)を贈呈します。

8. 特許翻訳上級コース カリキュラム

第35期 H29年 4月スタート(東京 本科)

東京 本科/カリキュラム・日程(平成29年 4月～8月)

東京:毎週水曜日、18:30～21:00pm、全15回・37.5時間

前半7回・英文和訳 後半8回・和文英訳

東京	時限	分類	担当教授	内 容	教 材
月	日	(下記の一連の教材より担当教授の選択により使用しますので、授業内容の日付と右の教材とは必ずしも一致しない場合があります。)			
4	12	1	演習 奥山	日本の特許・明細書・基本的な形式の注意 米国翻訳:E-J(1)	例題4
	19	2	演習 有原	米国翻訳:E-J(2)	例題2
	26	3	演習 有原	米国翻訳:E-J(3)	例題2
5	3	一 週 休 み			
	10	4	演習 有原	米国翻訳:E-J(4)	例題5
	17	5	演習 有原	米国翻訳:E-J(5)	新課題
	24	6	演習 奥山	米国裁判制度 翻訳:E-J(6)	例題6-2
	31	7	演習 有原	中間テスト:E-J(7)/講評	(テスト問題)
6	7	8	演習 奥山	米国用のクレーム作成と特許翻訳:J-E(1)	例題10
	14	9	演習 Albagli	米国用のクレーム作成と特許翻訳:J-E(2)	(選定中)
	21	10	演習 Albagli	米国用のクレーム作成と特許翻訳:J-E(3)	(選定中)
	28	11	演習 Hughes	米国用のクレーム作成と特許翻訳:J-E(4)	例題8
7	5	12	演習 Hughes	米国用のクレーム作成と特許翻訳:J-E(5)	例題9
	12	13	演習 Hughes	米国用のクレーム作成と特許翻訳:J-E(6)	例題11
	19	14	演習 奥山	クレームの作成と特許翻訳:J-E(7)	(選定中)
	26	一 週 休 み			
8	2	15	演習 奥山	最終テスト:J-E(8)/講評	(テスト問題)

新設 H29年 4月スタート(東京 医薬・バイオ)

東京 医薬・バイオ/カリキュラム・日程(平成29年 4月～5月)

東京:毎週火曜日、18:30～21:00pm、全4回・10.0時間 英文和訳

東京	時限	分類	担当教授	内 容	教 材
		(下記の一連の教材より担当教授の選択により使用しますので、授業内容の日付と右の教材とは必ずしも一致しない場合があります。)			
4	18	1	演習 田中	米国翻訳:E-J(1)	(選定中)
	25	2	演習 田中	米国翻訳:E-J(2)	(選定中)
5	2	一 週 休 み			
	9	3	演習 田中	米国翻訳:E-J(3)	(選定中)
	16	4	演習 田中	米国翻訳:E-J(4)	(選定中)

上記内容は一部変更になる事があります。

◎教材は入校オリエンテーション時とカリキュラムに沿って随時お送りします。

教材費は授業料に含まれております。

第35期 H29年 4月スタート(大阪 本科)

大阪 本科/カリキュラム・日程(平成29年 4月～8月)

大阪:毎週木曜日、18:30～21:00pm、全15回・37.5時間

前半7回・英文和訳 後半8回・和文英訳

大阪	時限	分類	担当教授	内 容	教 材	
月	日	(下記の一連の教材より担当教授の選択により使用しますので、授業内容の日付と右の教材とは必ずしも一致しない場合があります。)				
4	13	1	演習	酒井	米国翻訳:E-J(1)	(選定中)
	20	2	演習	酒井	米国翻訳:E-J(2)	(選定中)
	27	3	演習	上野	米国翻訳:E-J(3)	(選定中)
5	4	一 週 休 み				
	11	4	演習	上野	米国翻訳:E-J(4)	(選定中)
	18	5	演習	Judge	米国翻訳:E-J(5)	(選定中)
	25	6	演習	Judge	米国翻訳:E-J(6)	(選定中)
6	1	7	演習	上野	中間テスト:E-J(7)/講評	(テスト問題)
	8	8	講義	川上		(選定中)
	15	9	演習	川上	特許翻訳:J-E(1)	(選定中)
	22	10	演習	酒井	特許翻訳:J-E(2)	(選定中)
	29	11	演習	酒井	特許翻訳:J-E(3)	(選定中)
7	6	12	演習	上野	特許翻訳:J-E(4)	(選定中)
	13	13	演習	Judge	特許翻訳:J-E(5)	(選定中)
	20	14	演習	Judge	特許翻訳:J-E(6)	(選定中)
	27	一 週 休 み				
8	3	15	演習	酒井	最終テスト:J-E(7)/講評	(テスト問題)

上記内容は一部変更になる事があります。

◎教材は入校オリエンテーション時とカリキュラムに沿って随時お送りします。

教材費は授業料に含まれております。

9.スクール協力先(講師陣)

(東京 本科)

- 主任教授 奥山尚一先生(弁理士 Ph.D. 久遠特許事務所代表)
S55年4月 早稲田大学理工学部電気工学科卒業
S57年6月 アイオワ州立大学化学科卒業 B.A.
S62年12月 シカゴ大学大学院化学科博士課程修了 Ph.D
AIPPI本部理事、日本ライセンス協会理事、H23年24年度日本弁理士会長
現在、AIPPI・JAPAN副会長、内閣府知的財産戦略会議有識者本部委員
- 担当教授 有原幸一先生(弁理士 久遠特許事務所副所長)
日本弁理士会研修所継続研修企画運営部所属
- 担当教授 James D. Hughes先生(特許翻訳専門家)
- 担当教授 David Albagli先生(外国法事務弁護士・米国カリフォルニア州弁護士、
米国特許商標庁資格、ホワイト&ケース外国法事務弁護士事務所)に所属)
プリンストン大学化学工学科卒業 BSE
マサチューセッツ工科大学化学科博士課程修了 Ph.D.
2006年8月-12月 カリフォルニア州北部地区連邦裁判所(CAND)インターン

(東京 医薬・バイオ)

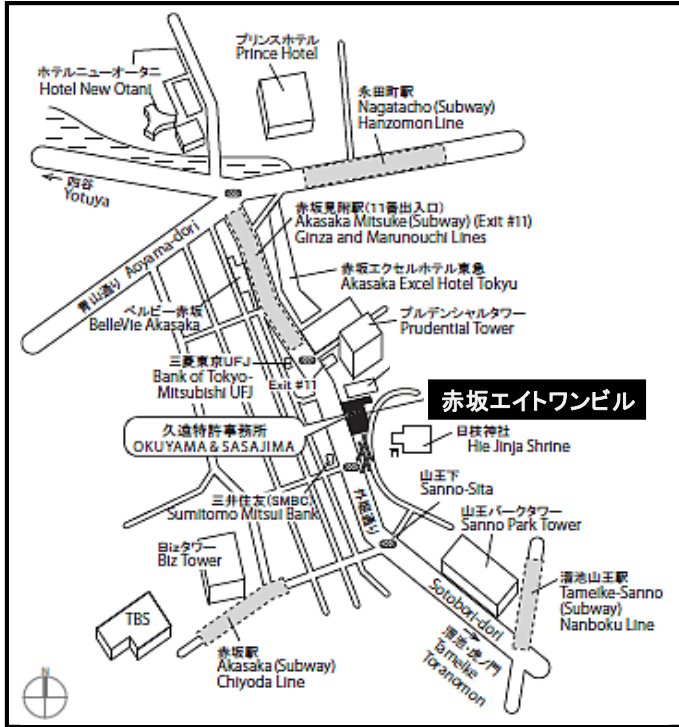
- 担当教授 田中康子先生(弁理士 エスキューブ国際特許事務所代表)
1990年3月 千葉大学理学部化学科卒業
1990年4月～2005年1月 帝人(株)知的財産部
2005年2月～2006年7月 ファイザー(株)知的財産部
2006年9月～2013年3月 住友スリーエム(株)(現スリーエムジャパン)知的財産部
2016年度前期 国立大学法人 富山大学 非常勤講師

(大阪 本科)

- 主任教授 酒井将行 先生(弁理士)
東京大学工学部物理工学科卒業(1985)同大学院 修士課程修了(1987)
三菱電機(株)勤務、1996年弁理士登録、深見特許事務所(1994-2011)副所長を経て
現在国際電気通信基礎技術研究所勤務
- 担当教授 川上桂子先生(弁理士 川上特許事務所代表)
1989年 大阪大学基礎工学部情報工学科卒業、1989-1993年 日本銀行電算情報局勤務
2009年4月-6月 米国連邦巡回控訴裁判所(CAFC)客員研究員
- 担当教授 James W. Judge先生
(米国弁理士、2016年ハブス・エナツキー・イノウエ外国法事務弁護士法人に所属)
- 担当教授 上野幸夫先生(特許翻訳専門家)

10. スクール会場のご案内

東京会場(本科、医薬・バイオ共通):
千代田区永田町2-13-5 赤坂エイトワンビル7F



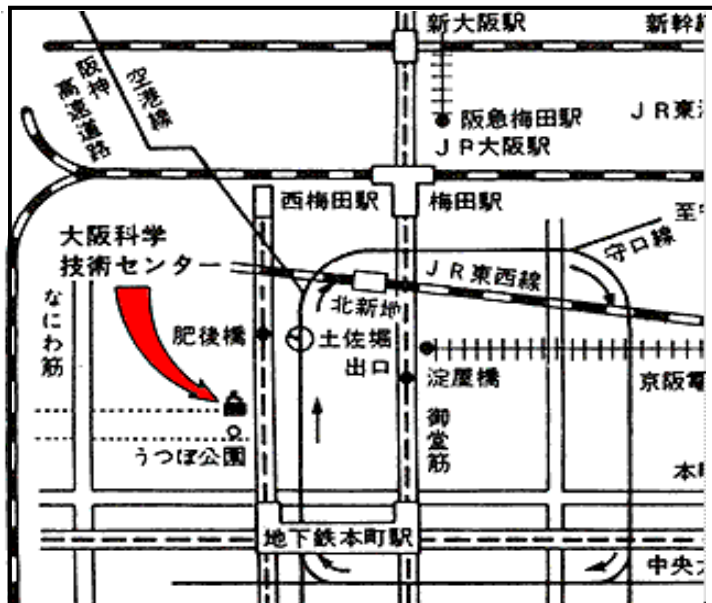
1階にPLUSのショールームがあるビルです。

<アクセス>

- 丸ノ内線・銀座線「赤坂見附」駅
11番出口より徒歩2分
- 千代田線「赤坂」駅
2番出口より徒歩5分
- 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」駅
8番出口より徒歩4分
- 銀座線・南北線「溜池山王」駅
7番出口より徒歩6分

※都合により一部日程で会場が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

大阪会場(本科):
大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター内教室
TEL: 06-6443-5324



<アクセス>

- 地下鉄四つ橋線「本町」駅
28号出口より徒歩5分
- 地下鉄御堂筋線「本町」駅
2号出口より徒歩8分

11. 特許翻訳上級コース 授業料のご案内

授業料(東京、大阪 本科)

開講	講義時間		一般		NIPTA会員割引		支払期日
			受講料		受講料		
東京 H29年4月12日	前期(英日)	17.5時間	消費税	16,800	消費税	15,200	3月30日
大阪 H29年4月13日	後期(日英)	20.0時間	合計	226,800	合計	205,200	

授業料(東京 医薬・バイオ)

開講	講義時間		一般		NIPTA会員割引		支払期日
			受講料		受講料		
H29年4月18日	英日	10.0時間	消費税	4,480	消費税	4,080	3月30日
			合計	60,480	合計	55,080	

- 日本知的財産翻訳協会の個人会員または団体会員の職員の方には割引料金を適用します。
- 弊社の他セミナーを過去に受講された方にも割引料金を適用しますので、お申し出ください。
- その他、分割払いのご相談など、詳細はお問い合わせください。

★初日の開講後は半年間のクラスのメンバーが確定し、開講後の申込やキャンセルはできなくなります。

★半年間のご自分の勉強方法、今後の目標などを、十分お考えの上お申込ください。

お申込の方法に従ってご入金のご案内(請求書)をお送りします。

【受講生の声】その16

受講修了者の声(平成27年)

■Tさん(女性/29期・翻訳上級コース)

1月からG社での勤務を開始して、あっという間に半年以上経ってしまいました。予想通り初めてのことばかりで今もまだ奮闘中です。スクールで学んだ知識だけを手に、何とかやらせて頂いております。仕事も育児も初めてのことばかりで手探りの日々ですが、その分この半年、前職を退職して以来の充実した日々を過ごしているように思います。白髪も増えました(笑) 日々色々なことがある中で、一つのことを続けていく難しさを、子供を持ってから一層強く感じています。エイバックさんは相当な年数スクールを続けていらっしゃるって、でも続けて下さったおかげで、私のように人生を大きく転換することができた人が数えきれないほどいるんでしょうね…。学生の頃から翻訳者を夢見ておりましたので、この会社に入社して「特許翻訳者」と書かれた名刺を手にしたときには、感極まるものがありました。一つの夢が形になった瞬間を一人かみしめていました。でも不思議なもので、一つの夢が形になった瞬間からもうゼロスタートを切っていて、今はやはりフリーの翻訳者として独立することが夢です。因みに、手近な目標としておりました、エイバックの受講料をこの仕事で稼ぐ、というのは無事達成しました(笑)

前の会社を退職して丸2年、社会復帰を高いハードルと感じていた私に心強い武器を与えて下さったエイバックさんに本当に感謝しています。お決まりのセリフのようですが、でも本当に、今の私があるのはエイバックさんのおかげだと思っております。正直なところ、やはり産後は無理かもしれないな…、と思ったときも一瞬ありましたが、堀部さんとお話していると大したことではないように思えてふっ切れた瞬間があったことを今でも覚えています。あとは勢いで乗り切った！という感じです。

ですので、私を卒業までしっかり引っ張って下さったその力強さでこれからも色々な方々を応援してあげてください！！ 本当に有難うございました。

■Aさん(女性/29期・翻訳上級コース)

先日はありがとうございました。

ひと段落ついたら、弁理士の勉強をしたいと思えます。

事務所はとてもいいところです。N先生はじめ皆さんに、温かくときには厳しくご指導頂いています。エイバックさんに出会わなければ、こんな就職はできなかったと思います。おかげさまで、人生が変わりました。

スクールに入学する前は、特許や特許翻訳を全く知らず、最初の面談で、世の中の厳しさ乃至特許翻訳の世界の厳しさを教わりました。それでも決意してこの世界に飛び込んで良かったと思います。

スクールでは、はじめは明細書を全く読み進められず苦勞しました。しかし、モチベーションの高いエイバックズームで、なんとか翻訳者になるための力をつけることができました。一年後、特許事務所を紹介していただきました。エイバックさんの紹介なら願ってもないことでした。運良く内定をもらい、早速働かせていただいております。仕事は大変ですが、とても楽しく働いています。事務所の人たちは、みな協力しあい助け合いながら、かつ、自分の仕事に責任を持ち、とても雰囲気の良い事務所です。そのようなところで働けることは本当に幸せなことだと感じております。

こんな私が、これだけ良い環境で働けるに至ったことは、厳しく温かい堀部さんのご教示と、エイバックズームのおかげです。未熟な私ですが、これからも特許翻訳の仕事に励んでいきたいと思っております。本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

■Mさん(女性/27期・翻訳上級コース)

2013年度3月に東京校上級特許翻訳コースを修了したMです。おかげ様で昨年2社の日英トライアルに合格いたしました。御社スクールの講座がなければトライアル合格はなかったと思います。本当にありがとうございました。

今後もセミナー等でお世話になる機会もあると存じます。 よろしくお願ひ致します。

【受講生の声】その15

受講修了者(平成26年)の声(2)

■Mさん(男性・翻訳上級コース)

ご無沙汰しております。修了生のMです。私は、エイバックズームで頑張った甲斐あって、翻訳会社から転職して、特許事務所内の翻訳者をしています。偶然ですが、一緒に勉強したIさんと同じ特許事務所です。今から振り返ってみると、エイバックズームでの経験は自分の大きな力になっていると感じています。堀部さんにはとても感謝しています。

H(弁理士試験合格)さんのニュース、すごく励みになります。ありがとうございます。

■Mさん(女性/28期・翻訳上級コース)

現在、特許事務所からお仕事をいただけてフリーランスで翻訳を始めました。日々、勉強しながら、希望していた化学分野(医薬など)を訳しています。ただ、コメントに毎度、この翻訳の自信がないからチェックお願いします、と書いてしまうそんな日々です。

また新しい講習があるんですね。

今回は厳しそうなのですが、もっと勉強したいと思っています。

また機会があれば、ぜひ参加させていただきたく存じます。

ご案内ありがとうございました！

■Tさん(女性/29期・翻訳上級コース)

昨日、A社トライアル試験及び一次面接を受け、本日合格通知を頂きました。来週、二次面接(最終)を受けさせて頂く予定です。昨日の面接では、「日英のトライアルの評価は最高でした。向いていると思います。」と言って頂きました。もう嬉しくて跳び上がりそうでした。本当にありがとうございました。

来週の面接も合格できるように頑張ります。

(2週間後再び)

報告させて頂きました通り、無事にA社に採用して頂けることになりました。本当に、本当に、有難うございました。

大学卒業後6年間、以前の会社に勤務し退職後結婚、出産を経て2年間無職の時期を過ごし、こうして新たなスタートラインに立つことができたのはエイバックスクールと堀部さんのおかげに他なりません。転職の壁を非常に高く感じておりましたので、今心底ほっとしております。しかしのんびりしている暇はありませんので、早速保育園を探して出来るだけ早く勤務を開始できるようにしたいと思います。

下記、修了生の声として使って頂けたら幸いです。

=====

文系出身、前職も特許とは全く無関係だった私がこの度某翻訳会社の内定を頂くことができました。これはひとえにエイバックスクールと堀部社長のおかげです。

完全な未経験レベルから、たった半年でトライアルで良い評価を頂けるレベルまで引き上げて頂いたのは講師の方々のご指導と日々の課題が常に実際のお仕事を前提とした実践的なものだったからだと思います。また受講生の方々も皆さん意識が高く、途中、継続していくことが難しいと思った時期もありましたが、良い刺激を頂きながら最後まで受講することができました。

今後もまだまだ分からないことだらけで勉強の日々が続きますが、フリーランスでコンスタントに受注できるレベルを目標に新しい職場で頑張っていきたいと思っています。

本当に有難うございました。

【受講生の声】その14

受講修了者(平成26年)の声

■Sさん(男性/29期・東京上級コース)

第29期生のSです。

WEB講座から始めてこの10か月間、堀部社長、講師の先生方、エイバックZoomの皆様には大変お世話になりました。

これまで書籍などで特許翻訳について自習してきましたが、著者によって書いていることが違うこともよくあり、日々疑問や疑念を抱えておりました。上級講座では、著名な弁理士の先生方に直接質問することで、そうした疑問点を大幅に減らしていくことができたと感じています。

本来、特許翻訳という業は、特許事務所などの環境で先輩から後輩へと伝承されていく考え方や技術を前提としているのだらうと思います。エイバックの上級講座では、そうした理想的な環境に近いものを体験できるため、この業界で生きていくために必要な心構えと知恵を得ることができたと思います。

私自身はまだ特許翻訳実務を始めるには至っておりませんが、今までとは違い、視界が開けてきたのを実感しております。今後ともよろしく願いいたします。

■Iさん(男性/29期・東京上級コース)

数日前に最終講義を終えたばかりで、まだトライアルは受けておりませんが、自分の特許翻訳力が飛躍的に向上したと感じています。私は9年ほど前に特許翻訳業務に1年半ほど従事した経験があり、知的財産部にも所属しておりましたが、翻訳セクションでは同僚同士で教えあう文化が希薄であり、自習するしか上達の道はありませんでした。

今回翻訳上級コースで3名の講師の先生方に添削をしていただき、更に質問にも丁寧にご回答いただいたことで、特許翻訳業における「肌感覚」を身につけることができたように思います。

高いレベルで実務をこなしている方だからこそできる、実体験から導き出される回答を得られます。

これだけのプロに、自分の質問をぶつけることのできる機会は、もうないと思いました。

実務者にとっては重要でも、特許関連サイト、MPEP、書籍等文字情報には明示されない翻訳技術が多々あります。恐らく実務者だけが身につける「コツ」なのでしょうが、それを当人から聞くことができ、疑問点を答えて貰えるのは大変貴重な経験だと思います。実際私は、過去の翻訳業務の運用で間違っていた点を多数発見致しました。

多くの講師の方々には翻訳の納品をクライアントとして受け取っています。クライアントが本当に求めていることが何かということも、よくわかりました。

29期の皆さんとは今後も勉強会を続けていくことでコンセンサスが取れており、既に次回の日程や検討課題も決まっています。

翻訳レベルの近い、しかも半年机を並べていた方々は、私にとって非常に貴重な存在です。このような繋がりを作る事ができたのは、堀部さんの人徳だと思っています。

今後ともご指導よろしく願いします。

■Kさん(男性/28期・東京上級コース)

私事ではございますが、おかげさまで、H社様よりトライアル合格の連絡をいただきました。

合格対象分野は英日/日英:情報通信となります。特許翻訳者への入り口につながる足掛かりを得たといったところでしょうか。

堀部さんが仰っていたように、これからが本当の勝負だと思っています。クライアントから信頼される翻訳者となるべく、問題意識をもって日々精進してまいります。堀部社長、講師の先生方、半年間大変お世話になりました。

有難うございました。

【受講生の声】その13

受講修了者(平成25年)の声(2)

■Tさん(女性/27期・東京上級コース)

半年前まで、特許についても何も知らず、仕事で英語を使うことは皆無でしたが、上級クラス修了直後、堀部さんからご紹介頂いた先のトライアルに合格し、その後、その翻訳会社の特許部門で、校正と翻訳のお仕事をさせていただくことになりました。こんなに早くお仕事をさせていただけることになるとは、思ってもみなかったもので、驚きと喜びで一杯です。

面接の際、翻訳のトライアルの出来がかなりよかったと、お褒めの言葉をいただきました。まさに、エイバックでの学習の成果です。

全くの初心者の私が、こうして、翻訳者としての一步を踏み出すことができたのは、ひとえに、温かくも厳しい先生方のご指導と、レベルが高く向上心溢れるクラスメートの皆さんのお蔭です。心から感謝しております。

■Sさん(男性/27期・大阪上級コース)

第27期・特許翻訳上級コースを大阪校にて受講しておりましたSと申します。半年間にわたり、大変お世話になりました。

おかげさまで、このたび特許事務所より、日英の特許翻訳者(正社員)として内定をいただくことができました。

経験者以外での採用は私をはじめのようなので、本当にうれしく思っております。

エイバックの優秀な先生方によるきめ細かな授業内容のおかげで、今回、内定をいただくことができたと思っています。

特許翻訳の入り口によりやく立つことができましたが、これからが本当の勝負だと思っています。今後も色々とお世話になることがあるかと思いますが、どうぞよろしく願います。

末筆になりますが、親身になって相談にのっていただいた堀部社長、青山さんには本当に感謝しています。

本当にありがとうございました。

■Nさん(男性)

半年間にわたり、大変お世話になりました。

この半年間の研修で翻訳者としてのスタート台にたてそうな気になってきました。

そのような気持ちになれることが1つの成果であると思っています。

私は、日⇒英の明細書翻訳を開始できることになりました。(1つめがトライアルに相当するようです)先生方のお話では2-3年は初心者レベルのようですので、まずは継続して仕事がいただけるようレベルアップに努めていきたいと思っています。

私の場合、在宅での仕事になりますので翻訳者仲間という付き合いがありません。

仕事を継続して行くなかで、今後ともお世話になることがあろうかと思いますが、宜しく願います。

【受講生の声】その12

受講修了者(平成25年)の声(1)

■Kさん(女性)

最初4月にコースが始まった時は、特許の知識も翻訳の経験も殆どなかったので、こんな私が特許事務所で働いている方や、実際に特許翻訳者の方と肩を並べて勉強していいのだろうか・・・?と不安でした。加えて、文系出身で、技術内容も全く分からず、最初は特許翻訳の分野に足を踏み入れてしまったことを後悔しました。

そんな私も、半年間を終えた今、特許翻訳者としての一步を踏み出そうとしています。実際にお仕事が始まるのは少し先なので、まだどうなるか分かりませんが、これからもっと今まで以上に勉強して、早く一流の特許翻訳者になれるように頑張りたいと思います。

知識も経験もなく、心配性で怠け者な私がここまで頑張ってきたこと、そして特許翻訳者としての一步を踏み出せたこと、それらは全て先生方やクラスのおみんなのおかげだと思います。半年間一緒に学ぶことが出来て、本当に良かったです。なので、半年のコースが終わってしまって、今少し寂しく感じています。

またみんなで時々集まれたらいいな、と思います。その時に、がんばってるよ!と胸をはって言えるように、これからも勉強を続けていきたいと思います。半年間、本当にありがとうございました。

■Yさん(男性)

東京25期生(平成24年9月終了)のYです。特許翻訳をやることを決心して、別の学校の通信教育で特許翻訳を勉強していましたが、どこがポイントなのかが分からず、考え込んでいたところ、偶然インターネットでエイバックのHPを見つけて、受講することにしました。

先生方それぞれに、特許翻訳で必要な考え方を、それぞれの視点で教えて頂きました。堀部社長には、翻訳会社のトライアルの受け方、提出する職務経歴書の書き方まで、親切なアドバイスを受けました。困ったときに質問すると教えて頂けたので、心強かったです。

今回、特許翻訳者として翻訳会社に転職できました。やっとスタート地点に立てましたが、エイバックで教わったことを実務で生かして、早くプロになりたいと思います。

堀部社長と講師の先生方、同じクラスの受講生の皆さん、いろいろとお世話になりました。

【受講生の声】その11

受講修了者(平成24年)の声

■Mさん(男性)

半年間本当にお世話になりました。Mです。

エイバックスクールでの半年間は、翻訳の勉強だけでなく、みなさんのいろいろな話が聞けて、とてもいい経験になりました。他のスクールの通信課で学ぶことも考えていたのですが、エイバックスクールに通うことにして本当に良かったと感じています。

今後のことはまだ未定ですが、とりあえず翻訳者として続けていきたいと考えています。まだまだ未熟者ですが、特に技術の知識が足りないなのでその辺をもっとなんとかしたいです。きちんとした日本語で書かれていても厳しいのに、表現が曖昧だったり誤記が多かったりすると、内容の難しい翻訳だと現状ではお手上げです。

また、翻訳だけでは退屈なので(?)、最近はワードのマクロをいろいろ試して、少しでも楽をしてやろうと考えています。明日もそんな感じのセミナーに行ってきます。

■Tさん(女性)

入学前からいろいろと助けていただき、無事コースを終了することができました(これからが本番ですが!)

開講前におすすめていただいた本を読んでから授業に臨んだことは、授業を理解する上で大変ためになりました。特許翻訳の勉強を始めたことにより、常々興味を持っておりました特許の世界、特許事務所の世界への理解を少しずつではありますが深めることができていると実感しています。ますますこの世界への興味は高まり、7月に知的財産管理技能検定3級を受験し、合格することができました。

すべて堀部さんのおかげです!ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

■Cさん(女性)

特許翻訳上級アドバンスコースではお世話になりました。今回参加した理由は、最近は翻訳のフィードバックを頂くことがほとんどなくなり、自分の訳し方で良いのかを確かめたかったのと、特許について知識不足なままだったため勉強したかったのと、英訳の学習を始めたかと思っていたからです。

英文和訳については、日々の翻訳作業の中で、ただ字面だけを追って機械的に訳すことが日常化していたことを痛感しました。文意に忠実に訳すこと、発明のストーリー/発明の核心がどこにあるのかを理解すること、バックグラウンドから訳すことの大切さなどを改めて認識しました。

和文英訳については、means for の取り扱い、その他の表現に関することなど、大変勉強になりました。他の翻訳者の方たちの訳を参考に、学習を進めていこうと思います。

こうした機会を提供していただきどうもありがとうございました。

受講修了者(平成25年)の声

■Sさん(女性)

昨年の4月から翻訳コースでお世話になっていたSです。お久しぶりです。

本日特許事務所から弁理士として採用いただけるとの内定をもらいました。今年の4月から0歳の息子を保育園に預けることができたので、5月から転職活動を開始して、かなり早く内定もらったとの印象です。外国への出願が今後増えるそうなので、各国の特許制度について勉強して欲しいとのことでした。翻訳コースでも少し講義があったと思いますので、復習プラスαしたいと思います。

昨年はいろいろ相談にのっていただきありがとうございました。

また落ち着いたら、近況報告いたします。今後とも宜しくお願いします。